

# 一般質問



農道の整備が予定されています

## 農道整備事業について

質問(花塚直孝議員)湯津上地区  
狭原の農道舗装事業について伺  
います。

答弁(市長)当農道は、県営圃場  
整備事業により築造されました  
延長千三百九メートル、幅員四メ  
ートルの農道であり、合併時の要  
望事項でもありました。国の農山  
漁村活性化プロジェクト支援交  
付金事業である基盤整備促進事  
業により整備するため、平成二十  
一年度に国、県に予算要求資料を  
提出し、今年度、市の当初予算に

計上したところであります。

しかし、国の平成二十二年度予  
算において、当該交付金は対前年  
度比三割減という大変厳しい状  
況であり、当該農道に対する配分  
額は事業費ベースで要求額の二  
割に満たない額の提示となりま  
した。この内容では、単年度での  
完成は見込めないものとなりま  
した。

現在、本市における各土地改良  
区や自治会等からの農道舗装の  
要望は二百路線を超えており、受

益面積や使用頻度、緊急性、効率  
性、地域の必要度に応じて、国、県  
の補助事業の導入と併せ、市直営  
の防じん舗装により順次整備し  
ております。

しかし、このような整備体制の  
中、当該農道を複数年度に分けて  
実施することは、他の要望路線の  
整備の進捗に多大な影響を及ぼ  
すため、単年度での整備が必要で  
あると考え、交付金事業により実  
施することを見直すことといた  
しました。

財政の負担増とならない工法  
や舗装構成を十分に検討し、今年  
度内に完成させる考えでありま  
す。

## 要援護者の避難支援について

質問(小池利雄議員)災害時に  
おける要援護者の避難支援体制に  
ついて伺います。

答弁(市長)災害時における要援  
護者の支援には、避難勧告等の情  
報の伝達はもとより、避難誘導な  
どの支援を行っていくためには、  
多くの市民の皆様方のご協力が  
ありませんと、迅速、円滑な支援  
ができないことは申すまでもあ  
りません。このため、できるだけ  
近所の方の中から、災害時の情報  
を伝達していただく方や、避難誘

導時に支援をしてくださる方を  
災害発生に備えてあらかじめ定  
めておく必要があります。

また、災害時における要援護者  
に対する情報伝達につきましても、  
旧黒羽町が設置した防災行政  
無線を利用することはもちろん  
であります。他の方法として携  
帯電話を利用して情報を伝達す  
るために市が提供する「安全・安  
心メール」の情報受信者としての  
登録を促進することにより、重大  
な災害情報を確実に伝達する体

制の整備が求められております。

本年度中に災害時要援護者マ  
ニユアルの概要版を市広報に添  
えて全世帯に配布する予定であ  
り、要援護者として登録するため  
の申請書をあわせて配布すると  
ともに、今後、民生委員、自治会長  
等に対する説明会の実施を検討  
しております。

また、要援護者の避難誘導等の  
支援をする方に対しても、市が提  
供する「安全・安心メール」の情報  
受信者としての登録の促進を図  
ってまいるとともに個人情報  
保護に留意をしながら、定期的  
に登録された情報の整備を進めて  
まいります。



避難訓練の様子